〔記入例〕　審　判　報　告　書 ※公式文書鉛筆書き不可

大会名　※正式名称及び何回戦、何節かを記入

試合時間　※９０・７０など　分　　延長戦　※２０・１０など　分

試　合　A　※トーナメント表の左チーム　リーグ戦表の上のチーム　　対 B　※トーナメント表の右チーム　リーグ戦表の下のチーム

結　果　3：3（1：0）（1：2）延（0：1）（1：0）　※左から試合全体の得点・前半・後半・延長前半・延長後半の順に記入

※実際にキックオフした時間

日　時　2007 年　4 月　24 日　10 時 0 0 分 キックオフ　ＰＫ方式（７：　６）

場　所　※正式名称で記入する

主　審　※フルネーム　所属　日本協会　副審１　※フルネーム　所属　北海道協会

第４の審判員　※フルネーム　所属　札幌協会　副審２　□□　◎◎　所属　苫小牧協会

※所属＝ １級：日本協会２級：北海道協会、３級：地区協会名を記入

競技場､用具の状態

※芝、良好（競技場、用具が全て良い状態であれば「良好」と書く。その他の場合には、具体的に「芝・土ーー状態：凹凸・水溜りあり・雨により軟弱、風により砂埃が舞う等」。）

※競技場の用具「ゴールネット、ライン等」に不備があった場合には、競技開始前にどのような改善策を実施し、その結果どのような状態になったので競技を開始したかを詳細に記入する。

警　告

	時間	チーム	番号	氏　名	理由｛（ ）内に反ラ異繰遅距入去を記入し、具体的事由を記入する｝
1	15	A	9	※フルネーム	（ラ）後方からスライディングタックルし、ボールに触れず相手を倒した。
2	35	A	3	◆◆　●●	（反）反則を受けていないのに、わざと大げさに倒れた
3	ハーフタイム	A	4	◎◎　××	（異）前半が終了して更衣室に戻る際､前半の判定に対して、言葉を用いて異議を示した。
4	50	B	2	※フルネーム	（遅）わざと靴紐を縛りなおし、ゴールキックを遅らせた
5	76	A	3	◆◆　●●	（異）笛を吹いた後主審のほうを見ながらボールを地面に叩きつけ判定に対し不服のある態度を取った。
6	⇳				()　※理由の欄は競技規則の記載どおりに記入する。
7					()　*「ラフプレー」は、競技規則では「反スポーツ行為」に含まれるが、日本では独立した警告の項目として採用している。適用を間違わないように注意すること。*
8	通算時間で記入する。ただし､試合前･ハーフタイム･試合後の表現もありうる。				
					※何もない場合には斜線を引くなどする。空欄にしない。

退　場（詳細は重要事項報告書に記入して提出する｡但し警告２についてはこの報告書のみでよい。）

	時間	チーム	番号	氏　名	理由（不正、乱暴、つば、阻止（手）、阻止（他）、暴言、警告２）
1	54	B	10	苫小牧　●●	不正（詳細は別紙に記入）　※（退場の場合は、別紙の重要事項報告書に詳細に記入して提出する。）
2	76	A	3	◆◆　●●	警告２回　※（２度の警告の場合には、この報告書に記入するのみでよい）
3					

※警告の欄と同じ要領で記入

その他の報告事項

※特に問題のなかった場合には「特になし」と記入する。その他の場合には具体的に記入する。　[具体例]①競技者・交代要員以外のチーム役員に懲戒罰（警告・退場）に相当する行為があった場合。この場合も、氏名（フルネーム）を記入する。②チームのユニホーム等に問題があった場合。③キックオフの時間が遅れた場合。④副審に問題があった場合。⑤運営面で問題があった場合。⑥その他（規則第５条の主審の「権限」「職権と任務」に問題が生じた場合。）※特別に詳細を報告しなければならない場合は、別紙の重要事項報告書を用いること。

以上の通り報告いたします。

2007　年　4　月　24　日　※記載日を記入し、年号は西暦で記入。住所と氏名は、明瞭に自筆で記入。

主審住所　苫小牧市字高岡？番地？号

署　名　※　フ　ル　ネ　ー　ム

（財）北海道サッカー協会会長殿